



# はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより

令和3年 11月 25日 号

発行者 遠藤 一義 (校長)

## 「調和のとれた子ども」

令和3年度 有馬小学校の校内研究の主題は「自己の生き方についての考えを深める道徳科 ～心を動かす発問の工夫～」です。この研究主題に沿って、特別の教科 道徳(以下「道徳」と表記)の研究が行われています。(これまでに講師の先生に3回学校に来ていただき、初回は講義、



2回は研究授業と協議、指導講評)

あらためて学習指導要領解説に目を通してみると、いろいろなことを読み取ることができました。まず道徳の目標が、「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え・自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とあること。次に、道徳の目指すものとして「特定の価値観を押し付けず」「主体性を持たずに言われるままに行動せず」「多様な価値観や対立する場合に」「自立した個人としてよりよく生きるために」「いかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢」と記載されていること。そして、そのことを義務教育9年間の発達段階に応じて設定されていることも気づきました。学校は、いろいろな個性や特性を持っている子どもたちが集団で生活をしています。学校での毎日は、「道徳的な判断や考えを学ぶ場」がたくさんあります。自分の価値観に同調することを他人に強く求める、自分であまり考えず周りと同じ事で安心する、違う価値観が対立しトラブルになる…。

「調和」：一つのもが他の中に置かれた場合、互いの性質、特に、色・形・音などが、衝突しないで、新しい美しさ(良さ)を見せること(三省堂 新明解国語辞典 第二版より)

道徳の教科書に掲載されている話を、いかに自分の身の回りに起こることとして考えていくことができるか、そして「その時にどう行動するか」を考えると、キーワードの一つとして、学校教育目標にある「調和」という言葉があると思います。「衝突しないで、新しい美しさ(良さ)を見せる」、道徳の目指すところの一つを表している言葉だと思っています。

「夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる」 学校教育目標の具現化に向けて、校内研究に取り組んでいます。

## 道徳

## 「話したあとで…」

「いままであたりまえのようにやっていたことが、よく考えてみるとあまりあたりまえではなかったこと。」(4年生 女子)

「次の6年生の時は、5年生と合同の運動会のダンスだったら、5年生を一生けんめい引っぱっていきます。」(5年生 男子)

「今までは運動会ができる事ってあたりまえだったけど、スポーツデーができた事がすごいんだなーって思った。」(6年生 男子)

朝会や儀式で話したあと、児童全員に感想(のようなもの)を書けてもらっています。上記3名は10/25の朝会で書いてくれたものです(話の内容は、「はるにれ 10月25日号」と同じ内容)。私の伝えたかったことが少しでも届いた事をうれしく感じます。放送での話ですので、聞いているときの児童の表情はわかりませんが、集まってくる児童のコメントを読むと、一生懸命聞いてくれているのがとても伝わります。



◎MOA 美術館海老名市児童絵画作品展 入賞  
努力賞 高橋 愛佳(6年1組)

### ★12月の主な行事予定★(11/25時点)

- 1日(水) 委員会活動④
- 2日(木) 代表委員会⑤
- 8日(水) 児童朝会  
児童集会(たてわり)
- 10日(金) イングリッシュデー
- 17日(金) 薬物乱用防止教室(6年生)
- 22日(水) 出前おはなし会(3年生)
- 23日(木) 2学期給食最終日
- 24日(金) 2学期終業式
- 25日(土) 冬季休業

※冬季休業中の平日電話対応は、1/6.7のみ8時30分から17時00分までとなっています。その他の平日(12/27.28.1.4.5)は学校閉庁日となり、土日同様終日留守番メッセージによる対応となります。ご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。